

道の日祭り 実施報告書

<u>〔開催日〕</u>	平成29年8月5日（土曜日）
<u>〔場所〕</u>	道の駅庄和（春日部市上柳）
<u>〔参加者数〕</u>	○来場者数 約300名 ・道の日体験スタンプラリー参加者数 269名※ ・道の日アンケート 223名※ ・シートベルト衝撃体験 120名※ ・子供安全免許証の発行 71枚※ (※各体験参加者数は重複有)
<u>〔内容〕</u>	道の日クイズほか道路愛護・交通安全の啓発
<u>〔主催・後援〕</u>	主催 埼玉県、後援 春日部市
<u>〔協賛・協力〕</u>	協賛 一般社団法人埼玉県トラック協会 協力 一般社団法人日本自動車連盟（JAF）埼玉支部

道路の役割や重要性を皆様に改めて認識していただき、身近な道路を常に美しく、安全に利用する気運を高めることを目的として、8月10日の「道の日」と8月の道路ふれあい月間にちなんだ「道の日祭り」を開催しました。

「展示コーナー（埼玉県）」と「道の日クイズ」のテントでは、道路への関心を高めるきっかけにさせていただくため、展示された道路関係のパネルを見ながら行う「道の日クイズ」と、道の駅やゴミのポイ捨てについてアンケートを実施しました。

「シートベルト衝撃体験」「子供安全免許証」のテントでは、JAFにより、時速5kmで壁にぶつかった際の衝撃を知ることができる「シートベルト衝撃体験」や、顔写真付きの「子供安全免許証」の発行などのイベントを行いました。

「展示コーナー（国土交通省）」のテントでは、大宮国道事務所によるパネル展示が行われ、「道路の老朽化対策」の説明がありました。

地元春日部市の方や旅の途中で「道の駅庄和」を訪れた方々には、楽しいひと時を過ごしながら、道路について関心を高めていただいたものと思います。



〔 道の日アンケート結果 〕

1 調査内容 : アンケート①「道の駅」について、アンケート②ごみのポイ捨てについて

2 回答者数 : 223 人

(内訳)

性別 男性 98 人 (44%)、女性 116 人 (52%)、未回答 9 人 (4%)

県内外 県内 145 人 (65%)、県外 63 人 (28%)、未回答 15 人 (7%)

年齢 20 歳未満 30 人、20 歳～40 歳未満 30 人、40 歳～60 歳未満 70 人、
60 歳以上 79 人、未回答 14 人

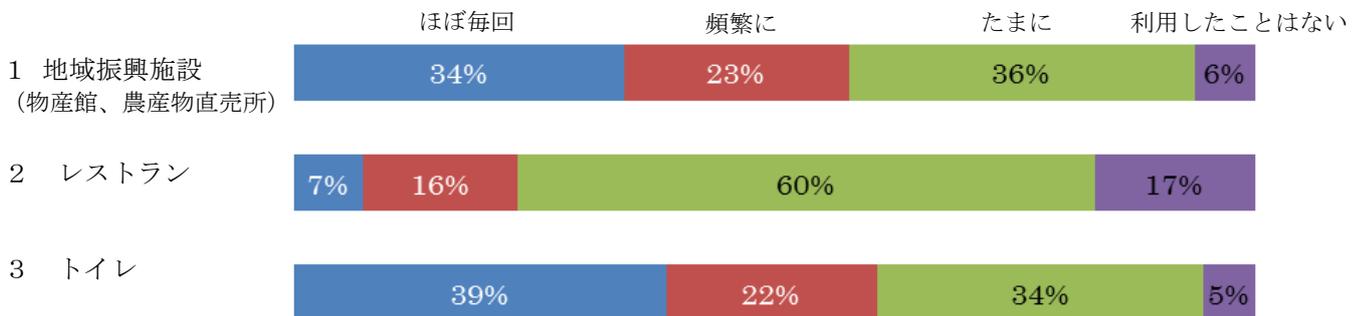
3 結果

～アンケート①「道の駅」について～

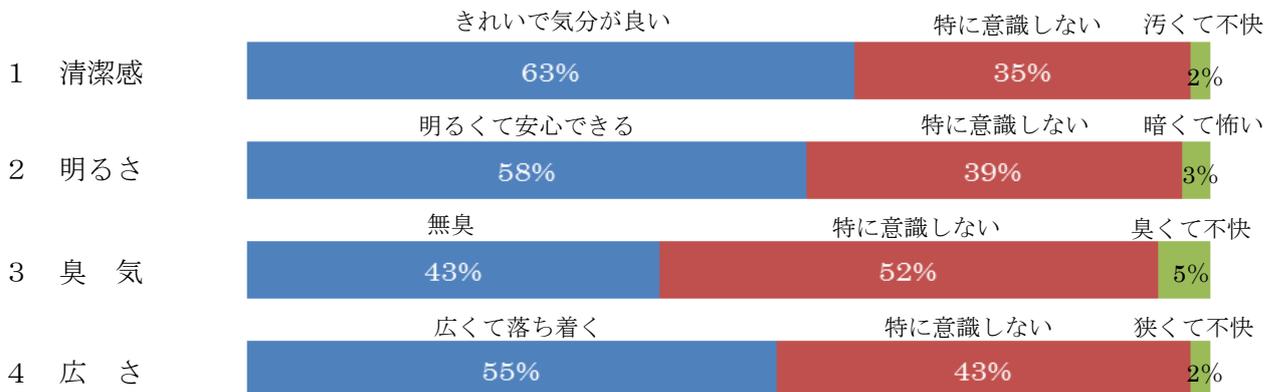
【質問 1】道の駅はどのくらい利用されますか。



【質問 2】道の駅で各施設をどの程度、利用されていますか。



【質問 3】県内の道の駅におけるトイレのイメージを教えてください。



【質問4】道の駅のトイレで一番気にすることを教えてください。



【質問5】道の駅のトイレで和式と洋式では、どちらを利用しますか？



【質問6】道の駅のトイレで必要と思う機能全てに○をつけてください。（複数回答可）

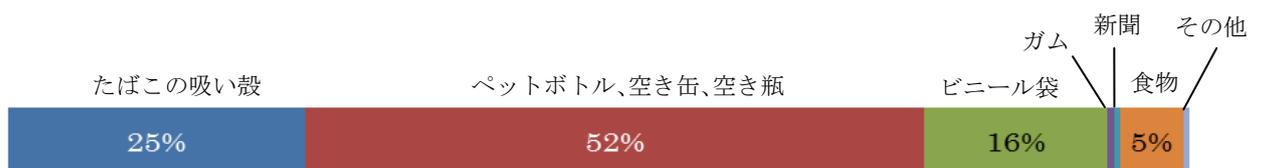


～アンケート② ゴミのポイ捨てについて～

【質問1】道路にポイ捨てされているゴミの量についてどのように感じますか？



【質問2】ポイ捨てされたゴミの種類でよく見かけるものは何ですか？



【質問3】ポイ捨てはどのような場所に多いですか？



【質問4】ボランティアの清掃活動等に参加した事がありますか？



【質問5】 質問4で「参加した」と答えた方に伺います。
清掃活動に参加した理由を教えてください。



【質問6】 『彩の国ロードサポート制度』を知っていますか？



5 まとめ

- 道の駅の施設利用について、最も利用の多いのはトイレであり、頻繁に利用されている方を含めると約6割であった。また、地域振興施設についても相当の利用がある。
- 道の駅のトイレの便座について、和式と洋式とでは、約9割が洋式便座を利用していた。年代、男女の区分別に見ても、いずれも洋式を利用するという回答が多く、大きな差は見られなかった。

	男	女	20歳未満	20歳～40歳未満	40歳～60歳未満	60歳以上
和式	7%	13%	7%	3%	12%	14%
洋式	93%	87%	93%	97%	88%	86%

- 道の駅のトイレで必要と思う機能については、男女により違いが見られた。

	保温式便座	ウォシュレット	トイレ用擬音装置
男	39%	57%	4%
女	51%	21%	28%

- ポイ捨てされているゴミの種類については、ペットボトル・空き缶・空き瓶とタバコの吸い殻が目立った。
- ボランティアの清掃活動に参加した理由は、ほぼ全てが職場や地域の行事によるものであった。自主的に参加した、という回答は0%であった。